標準様式例6－2 （工事）

# （ 第 回、最終 ） 契約変更の内容

| | |
|---|---|
| 変更契約年月日 | 令和8年3月4日 |
| 契約業者 | 株式会社日立インダストリアルプロダクツ |
| 契約業者の住所 | 東京都千代田区外神田一丁目5番1号 |
| 工事の名称 | R4八潮排水機場ポンプ設備更新工事 |
| 工事場所 | 埼玉県八潮市鶴ヶ曽根地先 |
| 工事種別 | 機械設備工事 |
| 工事概要 | ポンプ設備更新　１式<br>主ポンプ設備更新　１式<br>主原動機更新　１式<br>動力伝達装置更新　１式<br>系統機器設備新設・移設　１式<br>電源設備新設・更新　１式<br>操作制御設備新設・更新・撤去・改造　１式<br>付属設備撤去・復旧　１式 |
| 工期(自) | 令和5年2月10日 |
| 工期(至) | 令和8年6月30日 |

| | |
|---|---|
| 変更前の契約金額 | 3,201,000,000 円(税込み) |
| 変更金額 | +248,600,000 円(税込み) |
| 変更後の契約金額 | 3,449,600,000 円(税込み) |

| | |
|---|---|
| 変更理由 | １．揚排水ポンプ設備製作<br>老朽化により内部機器の故障が発生、機能的対応限界を迎えていること及び信頼性確保の観点から監視操作端末類を更新したため、操作制御設備を増工する。<br>２．揚排水ポンプ設備据付<br>１）撤去工の増工に伴い、クレーン使用日数が追加となったため、揚排水ポンプ据付工を増工する。<br>２）撤去工の増工に伴い、防音壁の骨組基礎の撤去を行う必要が生じたため、コンクリート工を増工する。<br>３）現地調査の結果、機械設備と一体構造であることが判明し、機械設備の撤去に併せて防音壁の骨組撤去を行う必要が生じたため、撤去工を増工する。<br>４）既設設備の改造を伴う建屋工事が完成し、吸排気ダクト類に関する本工事での撤去範囲及び数量が明確になったため、撤去工を増工する。<br>５）撤去工の増工に伴い限られた非出水期間での施工（機能復旧）が不可能であることが判明し、工程短縮･安全確保のため簡易に開閉が可能となる仮設蓋の設置及び復旧作業を行う必要が生じたことから撤去工を増工する。<br>６）揚排水ポンプ設備据付工の増工に伴い殻運搬・処分作業が追加となったため撤去工を増工する。<br>７）協議の結果、産廃品の処分・運搬作業を行う必要が生じたため撤去工を増工する。<br>３．仮設工<br>撤去工の増工に伴い、足場支保工（機械設備）を増工する。<br>４．共通仮設費<br>１）調査対象工事のため、技術管理費を追加する。<br>２）快適トイレの設置を行ったため、営繕費を追加する。<br>５．工期<br>撤去工の増工、時間外労働上限規制及び完全週休２日の確保より、協議の結果９１日間延長し、令和８年６月３０日までとする。 |